

合貳町五段者并山一所畠三段  
在所平付在別紙  
右田地者、任代々寄進狀旨、令免許處也。仍爲後日之狀  
如件。

嘉慶二年四月廿日

上 使 在判

五月廿五日。後小松院、山城東福寺領江沼郡熊  
坂莊の諸役を免除せしめ給ふ。

【東福寺文書】 山城

六六四

左辨官下加賀國

應因准傍例、免除伊勢太神宮役夫工米、日食米、造内

裏御禊大嘗會以下勅役、院役、并都鄙寺社諸役、及國中段

米、關米、凡恒例臨時公役、永爲東福寺領當國熊坂庄事

右得彼寺住持比丘玄柔去三月日奏狀稱。比丘玄柔謹檢

案内、當寺者去嘉禎年中四條院御宇、光明峰寺禪定殿下、

任勅許奉請聖一國師以來、鎮奉祈四海安全寺院也然

早蒙天恩、被成官符宣、被停止伊勢太神宮役夫工米、并

勅院事、國役、諸社神人國司守護使入部、甲乙人亂入爲

未來際不易之寺領、且遂造營大功、彌令紹隆佛法、欲  
奉祈天下安全武運長久者。權中納言藤原俊任宣。奉勅  
依請者。國宣承知、依宣行之。

嘉慶二年五月廿五日

大史小槻宿禰 在判

權中辨藤原朝臣

(同日附の官符亦東福寺文書に在り。東福寺領諸國  
所々を列擧するの外異事なし。)

十二月十四日。幕府、加賀守護斯波義種をして、

山城祇園社領加賀郡萱野保を濫妨するを停めし

む。

【祇園社記】

六六五

祇園社雜掌實晴申。加賀國萱野保内眞野名・茅原名・市名

并屋敷等事、重解狀如此。所詮除田知園并河口以下國人

等致濫妨云々。頗招其咎歟。嚴密止彼等違亂、可被沙

汰付難掌於下地、更不可有緩怠之狀、依仰執達如件。

嘉慶二年十二月十四日

前修理大夫殿

左衛門佐 在判

元中六年 己巳

嘉慶三年 京都

康應元年 二月九日

己巳

紀元二〇四九

二月九日

二月十五日。假揭

【來迎寺文書】 鳳至郡

六六六

奉寄進

能登國穴水郷内來迎寺阿彌陀堂田之事

合百刈者<sup>坪ハ穴水南方杉本畔塚田也。七枚有</sup>

右件下地ハ、相國寺歸一之依爲所領、彼來迎寺仁毎月爲

佛供燈明之、阿彌陀寶前仁永代奉寄進處也。仍爲後證寄

進狀如斯。

康應元年 歲次 己巳 二月十五日

相國寺歸一御使

穴水庄主

有 會 在判

(本文書若し歸一の寄進狀ならば、有會とある所に

歸一の署名あるべく、有會の狀ならば本文の歸一と

ある所を歸一和尚など、記すべし。又相國寺歸一御

三月十二日。三阿等、鳳至郡總持寺に用途請取  
狀を出す。

【總持寺文書】

六六七

うけとる御用との事

合壹貫五百文者

右そうぢじよりの御さた、よつてうけとりの狀くだんの

ごとし。

嘉慶三年三月十二日

三 阿 在判

れうそう 在判

十月。貞慶、珠洲郡高座宮別當高勝寺に懇志を

有する輩の高座宮に寄進する神馬は、同寺をし

て受理せしむ。

【須須神社文書】 珠洲郡 六六八

高座宮神馬事、神主方事者不及子細、於寺家運志輩引